

手数料70万円。国庫支出金 444万円。県支出金 3,188万円。繰越金 404万円—など。

▶大野市道路線の認定及び変更について
集落内の主要な連絡道路を市道として認定し変更するもの。

◦新しく市道として認定したもの。

下中野中荒井町線340m、新庄区内線536m、菖蒲池区内2号線 420m、上荒井区内線 260m、阿難祖領家区内線 260m。

下御給区内線 270m、東山区内線 230m
東山区内2号線 500m、佐開鬼谷線 750m、蕨生区内線400m、柿ヶ島区内線250m、堂島区内線 250m。

◦変更したもの

小矢戸八幡、大矢戸線1,270mを1,020mに、木本中線 277mを 387mに。

▶大野市道路台帳整備委託事業の請負契約について

大野市全域にわたって道路台帳を整備委託するため、1億4,050万円で購入契約を締結するもので、昭和56年7月31日までの2ヵ年継続で実施の予定である。契約の概要は空中写真及び骨格測量、平面図及び調書作成等である。

選管委員・補充員決まる

市選挙管理委員および補充員は、法律の規定により選挙権を有する者で人格高潔、政治および選挙に関し公正な識見を有するものの中から議会において選挙することになっています。10月9日で委員の任期が満了となるので、新委員の選挙を9月28日の本会議において行った結果、次の方々当選されました。

◇委員

- 加藤 庄松 氏(75)日吉町
- 中村 道彦 氏(53)牛ヶ原
- 永田 房子 氏(55)新庄
- 石田 泰蔵 氏(72)橋爪

◇補充員

- 岡崎 佐氏(62)上打波
- 松井 豊治 氏(62)上野
- 長谷川 久氏(55)中保
- 皆川 英樹 氏(45)下掘

一 般 質 問

基本構想について

問 当市の将来進むべき指針としての基本構想が、12月議会で提案されると聞いている。この構想には当市の独自性が発揮されていないかならぬと思う。また過日実施した住民の意識調査の結果をどのように生かしていくのか。

答 もちろん当市に適した構想を立てて12月議会で提案し承認を得たい。既にお手元に構想の試案が配布されていると思うが、12月までに議員各位のご意見等も十分拝聴し、手直しの必要な点があればしていきたい。コンサルタントに委託したが、あくまでも構想そのものは各課連絡会を開き、市民のアンケート調査に基づく要望事項等も十分参考にして長期構想を立てた。実施計画については、各課において年度末までに取りまとめ、計画は3ヵ年のローリングで進めたい。

上庄小学校建設について

問 上庄小学校を改築する場合、現在の敷地面積で可能か。また、同校の木本・吉岡分校を今後統合するのか、それとも独立校として考えていくのか。

答 57年度に改築の計画であるが、現在の学校敷地内で十分改築は出来ると思う。

実施計画等については時間的余裕もあるので、来年度から地域の皆さん方と十分、話し合いを進めていきたい。

両分校の統廃独立等の問題は地元とよく協議

し、教育上望ましい結論を出したい。

林道整備に伴う 地元負担の軽減について

問 当市は林道網の整備が非常に遅れている。その原因の1つは林道整備に対する地元負担が高率であるためであり、負担率の軽減を図るとともに、積極的に林道開設を進めて欲しい。

答 地元負担については新規の計画に乗ってやる場合、年度当初において十分検討し軽減すべく努力したい。また林道網の整備の遅れについては、国が実施する計画に乗り遅れている面が多々あると思う。国が来年度実施する林業地域の総合整備事業を当市も取り入れて、林道の整備に力を入れていきたい。

上水道の今後の計画について

問 昨年着工した南部地区の上水道第1期工事は今年度完了する予定であるが、第2期工事を計画通り来年度着工するのか。また南部地区の現在の加入状況はどうか。

答 南部地区の加入率は約60%である。地区住民の協力を願い、加入率を高めるべく努力を続けている。加入者が少ないと上水道会計が維持出来ないので、十分地域住民の協力が得られるよう話し合いを進めて、加入状況とにらみ合わせて事業に着手したい。

なお第2期工事の水源池の用地確保は事前に進めたい。

▽上庄小学校



特産野菜の価格安定基金の増額について

問 今後水田利用再編対策が厳しくなる中で、当市は里芋、ニンジン、イチゴの特産野菜に力を入れてきており、安心して作付け出来るよう価格安定基金制度を設けたが、現在の基金では十分でない。増額出来ないか。

答 今年度の状況を見て農協や農家の皆さん方とよく協議し、増額の必要があれば考えていきたい。

教育委員会委員

玉村氏の任命に同意

玉村 正弥氏 (大正11. 3.20生)
大野市新町1番10号

企業誘致後の問題について

問 先に当市が誘致した日本コンデンサーの人員整理の際、話し合いのテーブルにも着かないまま推移した経緯がある。市は今後誘致企業が人員整理等をした場合、どう対処するのか。

答 市が積極的に誘致した企業が人員整理を行った場合、傍観していることは問題である。企業のことであり非常に難しい問題もあるが、企業と行政の立場でいろいろと協議し、人員整理等の場合は再配置等受け入れるべき企業にお願いするなど、その時の状況によって対処していきたい。

医療問題について

問 当市の最重要課題である市民病院、休日急患センターなど、いわゆる公的医療施設設置に向かって、去る7月地域医療協議会が発足したが、その協議会の進め方が消極的であると聞か、どうか。また公的医療施設設置の見通しはどうか。

答 協議会の発足までに医師会といろい

8月臨時市議会

工事請負契約2件を可決

有終南小学校校舎改築工事
衛生処理場改造工事

第182回8月臨時市議会は8月21日招集され、会期を1日限りと定め、理事者から提出の議案2件を可決しました。議案の内容は次のとおりです。

▶工事請負契約について

有終南小学校校舎改築工事を5億7,730万円で請負契約を締結するもので、昭和55年7月30日までに完成予定。鉄筋コンクリート造3階建、延面積5,595㎡。

▶工事請負契約について

し尿処理場改造工事を1億1,800万円で請負契約を締結するもので、昭和55年3月25日までに完成予定。第2消化槽設備改築工事一式。

ろと接触を重ねてきた中で、公共医療施設設置の場合、医師会側は医師の確保に不安を抱いている。二、三年たてば各地に医大も増え、医師確保も容易になるという見通しである。今後、協議会に問題を提案し協議を重ねて、出来るだけ早く市民の要望にこたえられる公的医療施設の建設に努力したい。

▶工事中の有終南小学校



び、全国的に深刻な事態になっている。冬場の需要期を迎え買占め、売惜しみがあつた場合、市はどのような対策を考えているか。

答 法の規制もあり、当市ではそういう事態はないものと信じている。しかし全く不安がないわけではないので、石油の量が規制されていく中で、消費者グループ連絡協議会を通じて、消費の節約を呼び掛けると共に販売業者に対しても円滑な供給を要望していきたい。

有終南小の移転改築に伴う周辺整備について

問 有終南小学校の移転改築に伴う周辺整備として、付近の2つの製材所の移転状況はどうなっているのか。

答 1つは移転先の用地が確保され、近く補償の話し合いに入る予定である。もう1つは用地確保の話が進んでいる段階である。

石油問題について

問 石油需給動向に伴う不安は、灯油・軽油の品不足、石油関連製品の高騰を呼

固定資産評価審査

委員会委員

木間氏の再選に同意

木間 祐順氏 (大正4. 3. 5生)
大野市木本第48号13番地

委員会活動

――委員長報告から――

各委員会のおもな要望・意見など次のとおり。

●建設委員会

①区道等の舗装の問題について。市道編入舗装の請願・陳情が数多く提出されていることにかんがみ、過去数回にわたって指摘してきた。この際なんらかの方途を講ずべく理事者の意向をただしたところ、今後区道等の舗装に当たっては、その工事の一部を地元で負担願って市の直営で施行していきたいとの答弁であった。市の前向きな姿勢に対して全委員がこれを了とし、今後直営施行能力等を十分勘案して年間の計画を立て、予算の増額について特別の配慮をし、土木行政の推進に一層の努力を払うよう強く要望した。

②下水道の終末処理場用地の確保については、本会議でも論及されたが、公共用地は買収という基本姿勢に立って、用地確保に一層の努力を払われたいとの意見が述べられた。

●教育民生委員会

①地域医療協議会の今後のあり方等についてただしたところ、その説明には具体性がなく、進むべき道がはっきりしていない。例え7月に発足したばかりとはいえ、公的医療施設の設置に対する市民の切実な要望に基づいて設置されたのであるから、その重要性を再認識し、休日急患センターはもとより、市民病院の建設に向かって、積極的に諮問すること。また、休日急患センターの建設は、振興計画の中で57年度に計画されているが、55年度に是非建設すべく、例え全額一般財源を投入してでも積極的に取り組むよう強く要望した。

②大野工業高等学校に繊維科の設置について。当奥越の発展と工業を中心とする産業教育の重要性から本校が開校されたが、繊維科がなく当市の基幹産業である繊維工業の発展上不可解と言わざるを得

ない。以前勝山精華高校に繊維科が設けられていたが、現在は廃止されている。若年労働者の定着を望む当市にとっては技術者の養成、技術開発、繊維工業発展のために是非とも繊維科の新設が望まれる。今後、市・議会一丸となって、明年度に向けて大野工業高等学校に繊維科設置の強力な運動を展開すべきであるとの強い要望があった。

③社会福祉協議会に対する委託料について。本委託料は6月にも補正され、その際委員長報告でも指摘したとおり、委託料としての性質上、補正ごとに委託料が計上されることは理解に苦しむ。今後管理運営、使用料の問題も含めて、十分検討するよう要望した。

●総務委員会

①駅東市営駐車場について。管理上からまた交通安全の立場からも駐車場の表示をして、市民が有効に利用出来るよう、さらに位置についての周知徹底を期すべきことを要望した。

②市税の調定について。今回の補正で、1億2,800万円の増が計上されているが、地域事情から出来る限り事業が円滑に執行出来るよう、年度当初において確実なデータ等により、歳入欠陥が生じないよう留意して調定するよう要望した。

③基本計画については、市民参加を基本として要望を強く取り入れ、医療問題などは緊急度に応じて慎重に検討し作成するよう要望した。

市民から提出された請願・陳情

採択されたもの		
番号	件名	提出者
請願21	市道編入について	中津川区長 藤田 護外1名
請願22	私道の市道移管について	泉町1区長 中出 繁三郎外7名
請願23	林道寺月線工事継続について	伏石区長 林 桂一外2名
請願25	市道編入について	伏石区長 林 桂一外44名
請願26	排水路の改修について	城町2区長 山形 甚吉外16名
請願27	南校下公民館の建設について	西里町区長 若山 秋俊外10名
請願28	駅前・清滝線の早期着工について	春日商店街理事長 山内 弘外8名
請願29	農協会館の助成について	大野市農協組合長理事 大霞原 登
陳情14	設備資金利子補給について	福井県公衆浴場業環境衛生同業組合大野支部長 竹田誓外1名
陳情15	河川の改良と浚せつについて	高砂町1区長 桑野 伊一
陳情16	側溝の拡幅改良と常時通水について	高砂町1区長 桑野 伊一
陳情19	市道認定について	大矢戸区長 斎藤 伝蔵
継続審査となったもの		
請願24	工場誘致について	大野織物工業協同組合 理事長 斎藤 政雄
陳情7	し尿汲取問題の解決について	錦町4-36 中村 雄次郎外1名
陳情9	鍼灸マッサージの国保協定復活について	大野地区区長会長 安土 義雄外3名
陳情17	工場誘致について	大野縫製組合 マックス外13社
陳情18	市道の一部路線変更及び改良工事の促進について	中荒井町2丁目区長 殿安 光成外87名